

平成28年度 第2回総合教育会議 会議録

1. 開 催 日 平成29年1月18日（水）
2. 会 場 文化創造センター会議室
3. 開会及び閉会時刻 開会14時00分 閉会15時15分
4. 出 席 委 員 田村村長
上松教育長、加藤委員、水崎委員、山口委員、濱本委員
5. 議場への出席者 高桑教育次長（説明員）、岸梅指導主幹（説明員）
安田主査（記録者）

議事の概要

- 教育次長 それでは、ただ今から、平成28年度第2回総合教育会議を開催します。開会にあたりまして、主催者であります村長からご挨拶申し上げます。
- 田村村長 今年度2回目の会議にお集まりいただきありがとうございます。前回の会議の中で、予算査定の前にもう一度会議を開催するというお話をしましたので、本日、会議を開催させていただきました。来週から村長査定を予定していますので意見をいただきたいと思います。本日は、よろしくをお願いします。
- 全 委 員 それでは議事に入りたいと思います。はじめに、会議録署名委員の指名について、濱本委員を指名したいと思います。よろしいでしょうか。
- 田村村長 はい。
- 教育次長 協議第1号平成29年度教育関係予算について説明願います。（資料1にて説明。）本日の資料は、昨年12月の教育委員会で説明しました資料に、副村長ヒアリング後の結果を追加・修正したものです。一部保留中のものもありますが、赤字が副村長ヒアリング後の数値となっています。教育委員会における課題を共有するという意味で説明したいと思います。主に新規のものや特徴的なものを説明します。（以下、資料に基づき説明。）
- 田村村長 何か質問等ありませんか。
- 山口委員 コミュニティ・スクール視察については、先進地を視察して、どのようなことに趣を置くか、どのようなことを行うのかなど情報共有という意味で、必要だと思います。教員住宅については、確保が必要です。住宅の建設以外の方法も含めて検討をお願いしたいと思います。
- 教育次長 教育委員会としては、築40年を超える住宅は建て替え、それ以外の住宅については内外装、設備を含めて改修が必要と考えています。居住性の向上を図る必要があります。
- 教 育 長 中札内小学校の普通教室の床張替えについては、非常に不衛生で早急に改善する必要があると思っています。単年度で難しいようであれば、複数年に分けてでもできるだけ早く修繕すべきと考えています。
- 濱本委員 メール配信システムについて、子どもの通う高校で開始されて、非常に便利になりました。以前は、緊急時の連絡は学校の電話回線数の関係で、先生の個人の携帯電話から保護者に電話をしていましたが、最近の保護者は知らない電話番号からの電話に出ない人が多くて、なかなか連絡がつかない

いことがあったようです。

指導参事 他町村では、メールを開かないと自動的に3回メールが届くシステムになっていて、メールを見たかどうかも分かるようになっていました。また、個人情報に関係で連絡網も作成できない時代になっています。

田村村長 メール配信システムの情報管理はどのようになっていますか。

濱本委員 保護者が個々に直接システムに登録することになりますので、他の人に個人情報漏れる心配がありません。

指導参事 無料のシステム等を学校で独自に導入している場合は問題があると思います。有料でしっかりとした情報管理がされているシステムが望ましいです。

加藤委員 個人情報なので、お金をかけて情報管理をすることが必要だと思います。電話だと仕事中などで出られないことも多いので、システムの導入によって迅速に連絡できることが望ましいと思います。

田村村長 他に何か質問等ありませんか。

全 員 ありません。

田村村長 骨格予算ですが、現時点で予算の確保が厳しい状況です。皆さんからの意見等は参考意見として受けさせていただきたいと思います。

次に、報告第1号認定こども園について、情報提供ということで説明させていただきます。

国における子ども子育て支援新制度に基づき、認定こども園への移行を検討してきました。保育園型と幼稚園型などがありますが、本村は、保育園ですので、保育園型で検討を進めてきました。早い段階で移行したいと考えていますが、平成27年度からニーズ調査の実施、管内先進地の調査の実施、保護者への概要説明などを行ってきました。昨年12月には条例を制定し、平成29年4月から保育園型認定こども園に移行する予定です。移行により、これまで特例として入園を認めてきた園児についても、3歳以上の子どもは保護者の就労等がなくても入園が可能となります。今までは、見守り保育の効果的な実践を進めてきましたが、認定こども園移行後は、体力づくりやバランス感覚を養うカリキュラムを重点に要素を入れることを予定しています。このカリキュラムの中には、「生活の基礎を身につける」、「集団行動がとれる」、「周りの子の気持ちがくみ取れる」子どもとなるよう、教育的要素などを合わせて取り入れていく予定です。小学校や教育委員会、コミュニティ・スクールとの係わりがあるという意識があります。無理をせずにゆっくりとやっていきたいと考えていますが、機会があれば委員の皆さんにも移行後の様子を見ていただきたいと思います。また、移行に伴い保育士のレベルアップも必要だと考えています。

指導参事 5歳児の卒園の姿を明確にする必要があります。小学校へしっかりとつなぐため、学校側もスタートカリキュラムを作成する必要があります。今年度中に小学校教諭と保育士、福祉の担当者との交流を始める予定をしています。来年度1年間をかけてカリキュラムを作成する予定です。

加藤委員 保育士の資格は皆さん持っていると思いますが、幼稚園教諭の資格はどのようになっていますか。

田村村長 幼稚園教諭を持っていない職員については、移行に向けて資格取得済みです。

教 育 長 職員採用の際にも、有資格者を採用しています。教育委員会がどのように

田村村長
教育次長

教 育 長

田村村長
全 委 員
田村村長

かかわっていくのか、保育園との打ち合わせを綿密に行う必要があると思います。

移行後、よく見ていただいて意見をいただければと考えています。

現在、特別支援の関係で連携会議はありますが、定期的な会議も必要ではないかと思います。

教育委員会と保育園の保護者との接点も今後必要になってくるのではないかと思います。

他に何か質問等ありませんか。

ありません。

以上で、第2回総合教育会議を閉会します。

本日は、ありがとうございました。

平成29年1月18日

村 長

田村光義

教 育 長

上松丈夫

署名委員

濱本晴美

記 録 者

安田紀章